

「ペトロ、牢から救い出される」

2024年02月28日

そうと分かるとペトロは、マルコと呼ばれていたヨハネの母マリアの家に行った。そこには、大勢の人が集まって祈っていた。彼が門の戸を叩くと、ロデという召し使いの女が取り次ぎに出て来た。ペトロの声だと分かると、喜びのあまり、門を開けもしないで家に駆け込み、ペトロが門の前に立っていると知らせた。人々は、「あなたは気が変になっているのだ」と言ったが、ロデは、本当だと言い張った。彼らは、「それはペトロを守る天使だろう」と言った。しかし、ペトロは戸をたたき続けた。彼らが開けてみると、ペトロがいたので驚いた。（使徒12：12～16）

ヘロデがペトロを捕らえ、処刑しようとしていた日の前夜、ペトロは牢で二本の鎖でつながれ、二人の兵士の間で眠っていた。番兵たちは戸口で見張っていて、嚴重に監視されていた。すると、主の天使が側に立ち、光が牢の中を赤々と照らした。天使はペトロの脇をつついて起こし、「急いで起き上がりなさい」と言った。その時、ペトロをつないでいた鎖が手から外れ落ちた。天使が「帯を締め、履物を履きなさい」と言うので、その通りにした。ペトロは天使について外に出て行ったが、現実のこととは分からず、幻を見ているように思えた。第一、第二の衛兵所を過ぎ、町に通じる鉄の門のところまで来ると、門はひとりで開いていた。ペトロは外に出て行くと、突然、天使は離れ去った。その時、ペトロは我に返って、「今、初めて本当のことが分かった。主が天使を遣わして、ヘロデの手から、またユダヤ民衆のあらゆるもくろみから、私を救い出してくださったのだ」と理解した。ペトロは天使によって、牢から解放されたと書いているが、ペトロたちの宣教を真実と認める人たちが、このような手段を用いて、彼を解放したのである。主イエスに表された救いを信じる人々がいて、迫害の最中でも、助けてくれたという出来事であろう。

ペトロは天使による救いと知って、マルコと呼ばれていたヨハネの母マリアの家に向かった。そこには、大勢の人が集まり、ペトロの無事を祈っていた。このマリアは、最後の晩餐の席を用意してくれた女性であろう。その息子がマルコ・ヨハネで、バルナバとサウロが第一宣教旅行に行った時、助手として同行している。ペトロが、マリアの家の門を叩くと、ロデという召し使いの女が取り次ぎに出て来た。彼女は、ペトロの声だと分かると、喜びのあまり、門を開けもしないで、家に駆け込み、ペトロが門の前に立っていると告げた。人々は、投獄されたペトロがいるはずはないと、「あなたは気が変になっているのだ」と言った。ロデが本当だと言い張ったが、「それはペトロを守る天使だろう」とからかった。ペトロが門を叩き続けるので、門を開けてみると、ペトロが立っていたので、皆は驚き、喜び合い、大声を上げた。ペトロは手で制して、静かにさせ、主が牢から連れ出してくださった次第を説明した。そして、「このことをヤコブ（主イエスの弟）ときょうだいたちに伝えなさい」と言った。そして、そこを出て、安全な所に身を隠した。

夜が明けると、兵士たちの間で、ペトロはどうなったのかと大騒ぎになった。ヘロデはペトロを捜しても見つからなかったので、番兵たちを取り調べた上で、処刑するように命じた。ペトロは牢から出ることはできたが、兵士たちは見張りの務めを全うできなかったという理由で処刑されたようだ。ペトロの命は兵士たちの死を代償に守られたということである。ヘロデは、ペトロを殺害できなかった慙愧を残しながら、過越祭後、カイサリアに下り、そこに滞在した。